

第6章

計画の評価・進め方

1. 計画の目標・効果

(1) 目標指標と目標値の設定

本計画に基づき、清水町版「コンパクト+ネットワーク」の都市構造を実現していくにあたり、今後、検討・実施する施策等の効果を分析・評価するための「目標指標」を設定します。

なお、都市機能や生活環境に係る目標値の設定に際しては、第5次清水町総合計画の評価指標を適用します。

① 社会移動の均衡、居住誘導区域内の人口密度の維持

町全体では人口減少が予測される中でも、「くらしやすさ」を支える都市機能の維持や、地域の特性を活かした居住促進等により、各地区の人口密度を維持し、町民が住み続ける・住み続けられる町を目指します。

目標指標	当初値：2015年	現況値：2020年	目標値：2040年	数値の把握方法
居住誘導区域内の人口密度	57.2人/ha	56.7人/ha	当初値維持	国勢調査をもとにGISを活用し推計
持ち家率	58.2%	68.0%	当初値以上	国勢調査

② 町全体の「くらしやすさ」を支える都市機能の維持

コアゾーンや地域の拠点を中心としたまちづくりの推進や、公共交通ネットワークの維持・充実により、町を維持していくうえで欠かせない施設として、町民のくらしを支える医療・福祉施設や子育て・教育施設の維持を図ります。

目標指標	当初値：2020年	現況値：2025年	目標値：2040年	数値の把握方法
医療や介護の施設・サービスが整っている	3.51点	3.70点	当初値以上	*総合計画評価指標
(行政・民間を問わず)教育施設やサービスが充実している	3.21点	3.14点	当初値以上	*総合計画評価指標

③ 自動車に頼らずにくらせる環境づくり

コアゾーンや地域の拠点を中心とした、徒歩圏内に生活利便施設が集積する歩いてくらせる市街地の形成や、公共交通の利便性を高める取組等により、自動車に頼りすぎないまちづくりを目指します。

目標指標	当初値： ()内は調査年	現況値： ()内は調査年	目標値：2040年	数値の把握方法
自動車以外の交通手段分担率	30.4% (2015年)	33.8% (2020年)	当初値以上	国勢調査、PT調査
自家用車を利用しなくても困らない	2.35点 (2020年)	2.02点 (2025年)	当初値以上	*総合計画評価指標

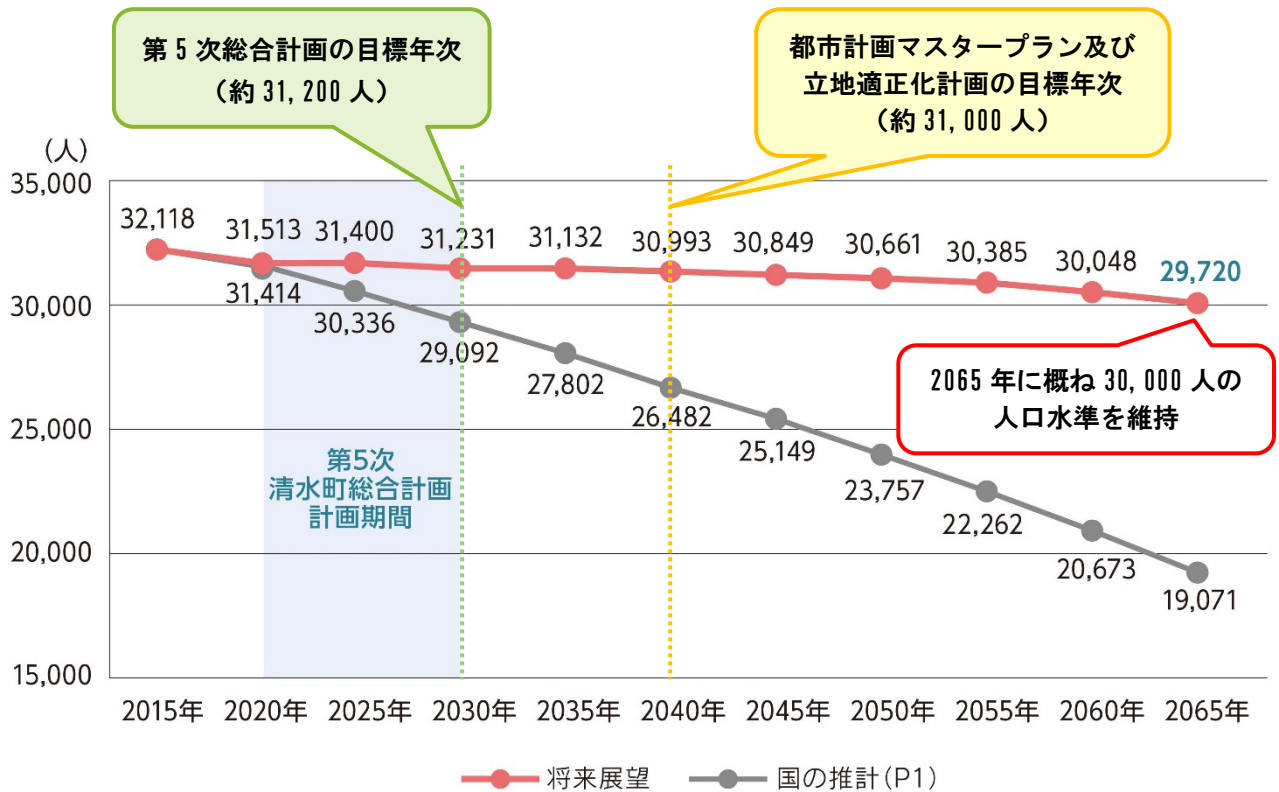
*住民アンケートにおける質問に対する5段階評価(思う～思わない)結果の加重平均点(5点満点)

(2) 期待される効果

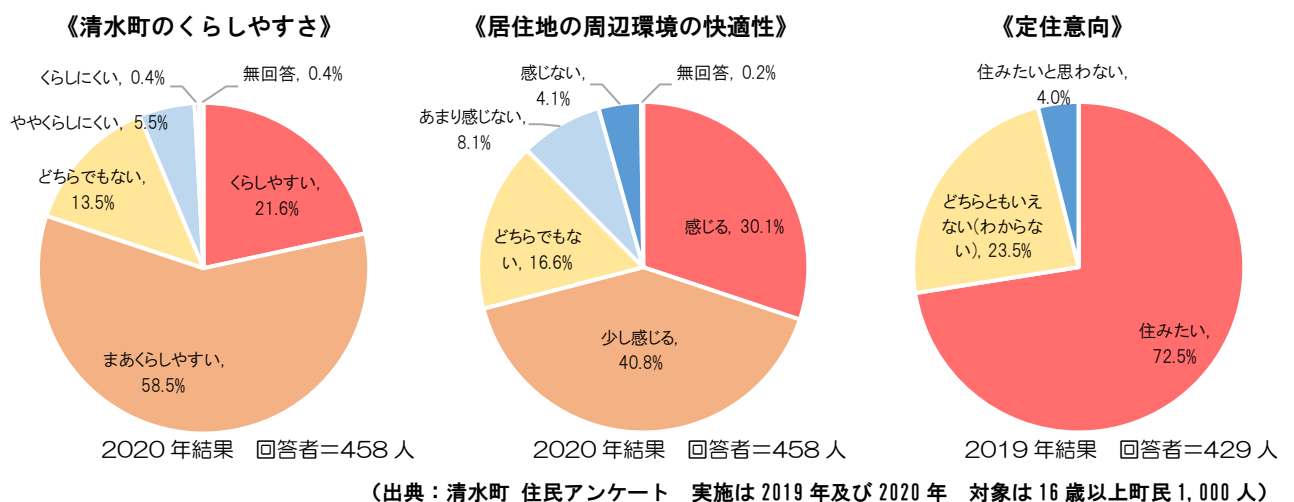
① 人口の将来展望の実現に寄与

町全体のくらしを支える都市機能の維持や、コアゾーンにおける新たな高次都市機能の誘導など、コアゾーン及び地域の拠点を中心とした居住促進等に係る施策により、今あるくらしやすさを維持・向上し、人口密度を維持します。

■ 清水町人口ビジョンによる人口の将来展望と目標年次人口



② 「くらしやすさ」等の評価の維持

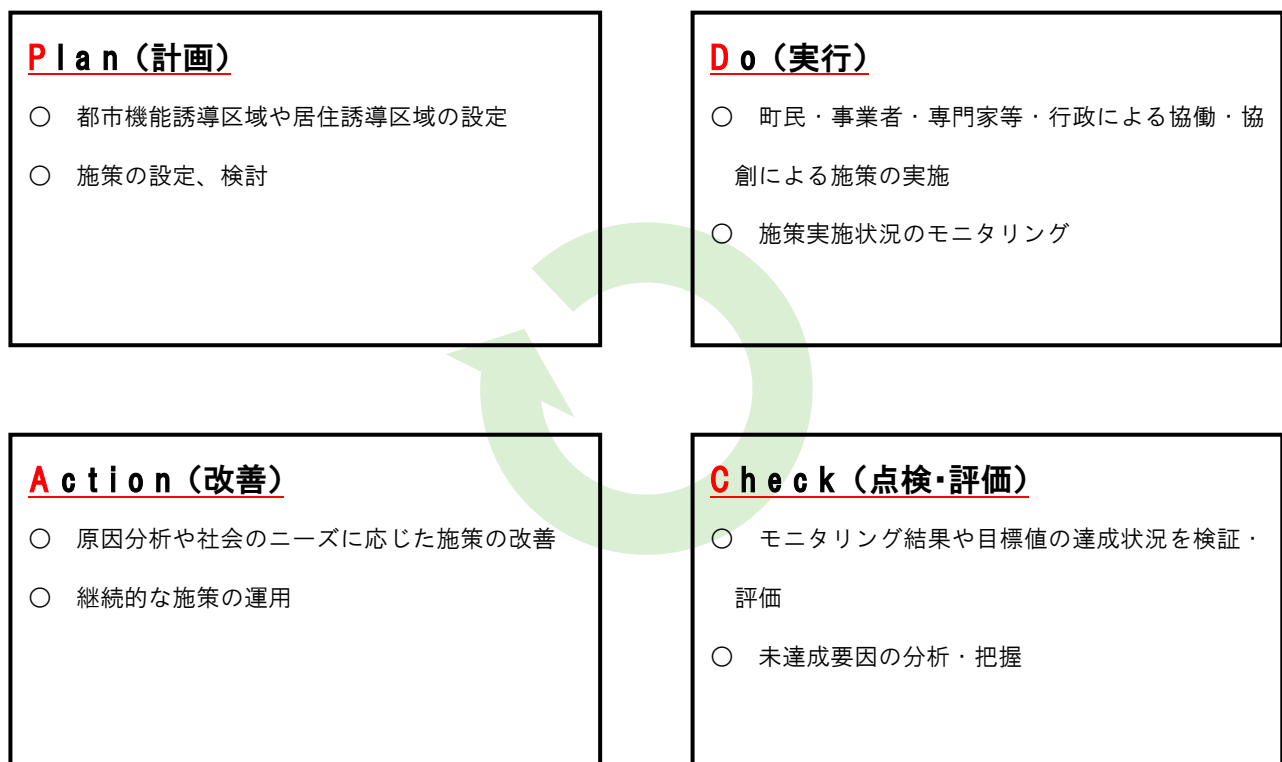


2. 計画の進捗管理・評価・見直し

「清水町立地適正化計画」は、清水町都市計画マスタープランのアクションプランとして、長年に渡り継続的な取組が必要となりますが、計画期間中に社会経済情勢の変化等が起きた場合、適切に対応していく必要があります。

このことから、P（計画）・D（実行）・C（点検・評価）・A（改善）サイクルにより、計画の適切な進捗管理に努め、本計画による効果的なまちづくりを目指します。

■ PDCAサイクルによる計画の進捗管理のイメージ





清水町立地適正化計画

令和8年3月改定

編集・発行

清水町都市計画課

〒411-8650 静岡県駿東郡清水町堂庭 210-1

TEL : 055-981-8225

E-mail : keikakushidou@town.shizuoka-shimizu.lg.jp
